

BETHEL 2010年2月号 (第79号)

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL089-925-5000

ホームページ <http://www.bethel.or.jp/>



新しい年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。
新しい年は、この冬一番の寒さの中小雪まじりの曇り空、なんとなく先行きの見えない不安げな幕開けとなってしまいました。皆様方どの様な思いで2010年の新しい年をお迎えてでしょうか。

昨年は「新」という漢字に象徴される、新しい日本に生まれ変わる変革の年であったと思います。しかしながら、変革の方向性がはっきり見えている訳ではなく、とにかく変わらなければ日本がどうなるのかわからない危機感から、舵取り役のチェンジがなされた年であったように思います。変わるということ(変革)、生まれ変わるということ(刷新)は、これらのことが取りざたされる背景に物事がうまくゆかず閉塞した状況があり、その打開策として打ち出される一つの方法であると思います。しかし、ここで重要なことは、何のための変革であり、何のための刷新であるかということをはっきりと自覚しておくということです。

松山ベテル病院は創設された1982年当初から、身体から病を取り去ることと同時に、心身共に病んでいる患者さまを全人的にケアするホスピス精神を大切なものとして歩ん

でまいりました。そして、その思いは10年前の2000年に病床再編の形で、県下初のホスピス病棟と神経難病病棟のスタートとして生まれ変わりました。そして、時が流れ30年近くが過ぎようとしている今に至るまで、設立当初掲げられていた『心身共に病んでいる患者さまを全人的にケアするホスピス精神』は、ベテル病院のスタッフの皆さんの心の中に脈々と受け継がれ流れ続けている事を日々の仕事の中で感じています。それぞれの時代の中での形の変化というものは、変えてはいけないものを大切に守り通すための変革・刷新であり、外からの変化に対応するための変化ではないことをしっかりと自覚することです。『ベテル病院が大切にしているものを決して変えることなく、そのために変わってきた』ことを誇りとして持ち続けたいと思っています。

2010年という年は、病院の理念をさらに具体的なものにするために、変わる決心をいたしました。明日に夢の持てる病院作りを、皆さんと力を合わせて歩んでゆきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(院長 中橋 恒)

医療における放射線の利用(2)

12月号にひきつづき“医療における放射線の利用法”についてご紹介します。今回は「放射線を利用した治療」をテーマにお話します。

放射線を用いた治療では、正確に病変を見つけ出し、患部にだけ放射線のエネルギーを吸収させダメージを与えます。現在の主な放射線治療は、**がん細胞**に対するものです。

一般的に新陳代謝の盛んな細胞ほど、放射線の影響を受けやすいことが知られています。がん細胞は人の体細胞より活動的なので、放射線を照射し被ばくすると、がん細胞は死滅しますが、健康な細胞はさほど影響を受けません。このことにより、がんの治療が可能となります。

● 体外からの放射線照射による治療

一般的には、事前のがん組織の正確な場所を診断し、このがん組織を中心に、線源を回転させながら放射線を照射します。最近では体の中の重要な臓器に照射されないよう、照射方向を正確に制御しながらがん組織だけを照射する**ガンマナイフ**なども実用化されています。



● 体内からの放射線照射による治療

① RI (ラジオアイソトープ)

放射線は線源からの距離が離れるほど、線量が少なくなります。したがって、線源とがん細胞の距離を短くすれば、小さな線源からでも大きな線量を照射することが可能になります。もしも小さな線源をがん組織の中に留めおくことができれば、健康な細胞に影響を与えずに治療ができます。こうした治療法は、主に舌がんや前立腺がんに使われます。

② 中性子捕獲療法

天然のホウ素(B)は、 ^{10}B と ^{11}B とが混ざっています。 ^{10}B は中性子線に反応しやすく、中性子線を照射すると反応を起こし、 α 線などの短い距離で大きな影響を与える放射線を放出します。そこで、この ^{10}B だけを集め、がん細胞にだけ集積する薬をつかって体内に入れます。ホウ素ががん細胞に集まったところに中性子線を照射します。すると α 線の被ばくにより、がん細胞が死滅します。しかし、体の素になっている酸素・炭素・窒素は中性子線とあまり反応しないので、周囲の健康な細胞への影響は小さくなります。

● その他の放射線の利用例

画像支援治療 (IVR)

放射線を直接治療に使うことではありませんが、X線で透視しながら血管内に細い管を通して、血管の中から治療する方法が盛んに行われるようになりました。血管が狭くなり血液が通りにくくなった場所に風船を膨らませ、血管を広げて血液を流れやすくしたり、血管の途中にできたこぶの中に詰め物をして血管が切れるのを防いだり、がん細胞の近くまで管を持っていき高濃度の抗がん剤を直接注入したり、さまざまな方法で利用されています。

* * * * *

さて、2回にわたって“医療における放射線の利用法”についてお話しました。医療技術は日進月歩、常に新しい装置や技術が開発されています。これらがより正確な診断と的確な治療方法を示してくれると思います。

※NLだより No331 より (放射線課 西尾 秀博)

外来からのお知らせ

◎ 2月の休診（1月20日現在）

2月23日（火） 内科 堀内 正嗣 医師

※堀内 正嗣 医師 の診察は、3月31日（水）で終了となります。

◎ 2月精神科・神経科外来診療日のお知らせ（豊田 泰孝 医師）

2月10日（水）、2月24日（水）

ボランティア総会

・ 日 時 ・

3月13日（土）午後2時～

・ 場 所 ・

松山ペテル病院
6階食堂

【ボランティア委員会】

お知らせ

新人紹介

ふる かわ たか し
古川 孝司 さん

配属部署：医療相談室

職 種：社会福祉士

出身地：松山市 星 座：双子座

趣 味：音楽鑑賞・旅行 好きな物：猫

尊敬する人：両親 好きな言葉：努力

抱負（一言）：患者様、ご家族様との出会いを大切に、皆様に必要なお手伝いができればと思います。宜しくお願い致します。



ペテル's ガーデン



サルビア

花言葉…尊敬、燃える思い
家族愛

場所…4階ラブラリーガーデン



椿(赤色)

花言葉…慎み深い、気取らない魅力

場所…眼科前(エデン側)



秋明菊(シュウメイク)

※咲き終わり

花言葉…忍耐、薄れゆく愛
場所…眼科前(エデン側)



蠟梅(ロウバイ)

花言葉…ゆかしさ、慈愛心
場所…外来受付

彦根城 氷柱つりたる (杷瑠子)	去年今年 丑から寅へ 干支めぐる (樋口 宏)	寒すぎて 電気毛布も 間にあわず (猪野 時平)	初夢は 足なえの吾 野を駆けり (もりのりこ)	暖求め こたつ入れば (松下あかり)	おせちの具 ノルマ達成 (門田 節子)	胡座にて 聖菓ほうばり 病を解く (匿名)	山茶花の 散り敷く庭の 汚れなき (丸山 豊)	道白く 犬ふきけたる 雪だるま (山下早知子)	普通の 賀状一人の のべる手に 夫のぬくもり (荻山香枝子)	一通の 賀状一人の のべる手に 夫のぬくもり 冬桜 (荻山香枝子)	賀状一人の のべる手に 夫のぬくもり 冬桜 (荻山香枝子)
------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	--------------------------	---------------------------	--------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	--	--	---

◎ 投句箱は外来・各病棟・5階リハビリ室に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。
※『ペテル通信』についてのご意見やご要望をお待ちしております。